

私たちは、
想像する。

彼は、音楽で大地を奏で、空をうつす。

三浦謙司

Kenji Miura Piano Recital

ピアノ・リサイタル

2019年ロン・ティボー・クレспан国際コンクール優勝

PROGRAM

天と地

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第14番「月光」

Beethoven: Piano Sonata No.14 "Moonlight" op.27-2

ドビュッシー：ベルガマスク組曲

Debussy: Suite bergamasque

第1曲「前奏曲」 第2曲「メヌエット」

I. Prelude

II. Menuet

第3曲「月の光」

III. Clair de lune

第4曲「パスピエ」

IV. Paspied

バルトーク：ルーマニア民俗舞曲

Bartók: Romanian Folk Dances

* * * * *

ゴドフスキー：ジャワ組曲より クラトン（王宮）にて

Godowsky: Java Suite "In tha Kraton"

モーツァルト：きらきら星変奏曲

Mozart: 12 Variations K.265

ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー（ピアノソロ版）

Gershwin: Rhapsody in Blue (Piano solo vers)

2023 **10/5** (木) 19:00開演 (18:30開場) **紀尾井ホール**

© Harald Hoffmann

全席指定 5,000円 65歳以上・25歳以下 3,000円 **4/17(月) 発売開始**

お申込み

●イープラス eplus.jp ●ぴあ t.pia.jp ●ローソンチケット l-tike.com ●ヒラサ・オフィス 03-5727-8830

主催・お問合せ：ヒラサ・オフィス 03-5727-8830

*都合により曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。*未就学児の入場はご遠慮ください。

Kenji Miura Piano Recital

物心がついた頃から大自然に魅せられていた。そこには自然の美しさに対する憧れだけでなく、天災に対する恐怖心も含まれていた。生命力に満ちていながら圧倒的な破壊力もあり、その前では人間の存在などちっぽけに感じてしまう。だからこそ人間はそんな大自然に憧れてきたのではないのでしょうか。

今回のプログラムは「天と地」という雄大な二つの要素を元に6つの作品を集めて作りました。皆様お馴染みのきらきら星変奏曲、月光ソナタとベルガマスク組曲で形取る「天」に対する3つの「地」の作品は古代のルーツを辿るジャワ組曲、大地のエネルギーと人間の本質を表すようなルーマニア民族舞曲、そしてジャズの要素がたっぷり詰まったラプソディー・イン・ブルー。天、正確には月をテーマに書かれた作品たちには月が持つ独特な儚さが漂っており、大地の要素を感じる作品は想像を超えるエネルギーに溢れている。一見対立している二つの要素がぶつかり合い、混ざり合うと一体どんな空間が生まれるのだろうか。皆様と会場で経験できるひと時を楽しみにしております。

—— 三浦謙司



© Mascha Mosconi



© Jeremy Knowles

三浦謙司(ピアノ) Kenji Miura, piano

2019年11月アルゲリッチが審査員長を務めたロン・ティボー・クレスパン国際コンクールにて優勝及び3つの特別賞を獲得、新たな才能としてその名を世界に知られることになる。

これまで第4回マンハッタン国際音楽コンクール金賞受賞、第1回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール優勝、2017年スタインウェイコンクールベルリン第1位をそれぞれ獲得。第9回浜松国際ピアノコンクールで奨励賞及びにAAF賞を受賞。

ウィグモアホール、ベルリンコンツェルトハウス、ラジオ・フランス大ホール、浜松アクトシティの他、モスクワ国際音楽の家、東京文化会館、浜離宮朝日ホールなど世界中の数々の会場に招かれる。これまでにフランス国立管弦楽団、ウラジミール・スピヴァコフ氏率いるモスクワ・ヴィルトゥオーゾ、新日本フィル、東京交響楽団、神奈川フィル、関西フィルなどと共演。

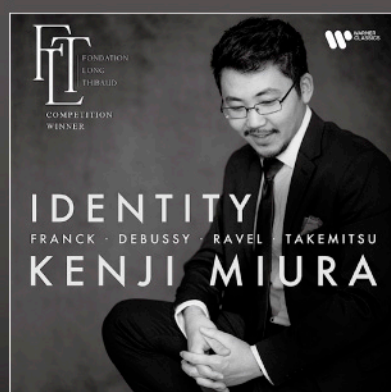
ルール・ピアノ・フェスティバル、リヨン・ショパン・フェスティバル、別府アルゲリッチ音楽祭、東京・春・音楽祭など世界各地のフェスティバルから招きを受ける。

1993年神戸生まれ。4歳から自らピアノを始め、13歳で英国政府主宰の音楽とダンス専門教育のための奨学金を獲得、単独渡英しロンドン・パーセル・スクールに入学。ロシャン・マガブ及びウィリアム・フォンのもとでピアノを学ぶ。

2011年、ロンドン王立音楽アカデミー、ベルリン芸術大学、カーティス音楽院の受験にすべて合格、ベルリン芸術大学にてクラウス・ヘルヴィヒ氏に師事、研鑽を積む。2012年夏、音楽の世界から一度離れる決意をし、ベルリン芸術大学を中退。日本で様々な仕事をしながらボランティア活動にも参加。2014年4月、同じくベルリン ハンス・アイスラー音楽大学に入学、エルダー・ネボルシン氏に師事。

ワーナークラシックス・ジャパンより2022年11月4日、新アルバム《アイデンティティ》をリリース。

2019年ロン・ティボー・クレスパン国際コンクール優勝者の三浦謙司デビュー盤 明瞭なタッチとスピード感あふれる音楽運びにより、最大限の楽曲の意味を鮮やかに伝える演奏



三浦謙司/
アイデンティティ〜フランク、武満徹、ラヴェル、ドビュッシー：ピアノ作品集(輸入盤)
セザール・フランク(ハロルド・パウアー編)：前奏曲、フーガと変奏曲 短調 Op.18
武満徹：ピアノのためのロマンス
武満徹：雨の樹素描II(オリヴィエ・メシアン)の追憶に)
モーリス・ラヴェル：水の戯れ
モーリス・ラヴェル：高雅で感傷的なワルツ M.61
クロード・ドビュッシー：6つの古代のエピグラフ
クロード・ドビュッシー：喜びの島
(ボーナス・トラック)
バンジャマン・ゴダール：マズルカ第2番 変ロ長調 Op.54

三浦謙司(ピアノ)：ジョルジュ・シフラが所有し演奏に使用していたヤマハ製)

録音：2021年11月15-17日、フランス、サンリス、サン＝フランブール礼拝堂
9029.615458 オープン価格

ワーナーミュージック・ジャパン取り扱い直輸入盤のみ、三浦謙司 自身による解説、長井進之介 氏による書き下ろし解説を掲載

